

平成31年2月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

平成31年2月25日(月)午前10時00分開会 午前11時10分
閉会

三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

- | | | |
|------|-------------|--------------|
| 日程第1 | 開会 | |
| 日程第2 | 前回会議録の報告、承認 | |
| 日程第3 | 会議録署名委員指名 | |
| 日程第4 | 会期の決定 | |
| 日程第5 | 教育長の報告 | |
| 日程第6 | 議事 | 議案第6号 |
| 日程第7 | 報告事項 | 報告第3号から報告第4号 |
| 日程第8 | その他 | |

○会議に出席した委員(5名)

- | | | | |
|----|------|----|------|
| 1番 | 鹿嶽昌功 | 2番 | 吉田礼子 |
| 3番 | 中上之仁 | 4番 | 田口文夫 |
| 5番 | 三木尚美 | | |

○説明のため出席した者(8名)

- | | | | |
|---------|------|----------|------------------|
| 学校教育部長 | 岡崎正文 | 学校教育部次長 | 外岡明文
(教育総務課長) |
| 学校教育課長 | 古井善喜 | 学校給食課長 | 宮城信之 |
| 学校教育課参事 | 村岡智行 | 教育総務課参事 | 浅野晋司 |
| 学校教育課参事 | 吉田裕彦 | 教育総務課副課長 | 上野樹 |

○代表学校園長(3名)

- | | |
|----------|------|
| 中学校校長会代表 | 竹村年正 |
| 小学校校長会代表 | 藤原賢治 |
| 幼稚園園長会代表 | 常倍英美 |

○会議に関係した事務局員(3名)

- | | |
|-------|-------|
| 教育総務課 | 松田成行 |
| | 寺嶋晶子 |
| | 清家梨奈子 |

○会議録署名委員

- | | |
|------|------|
| 教育長 | 鹿嶽昌功 |
| 教育委員 | 吉田礼子 |

日程第 1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから平成 31 年 2 月第 232 回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の追加議案の議案第 6 号「職員の分限処分について」は人事案件となります。よって、非公開として審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

では、議案第 6 号は非公開で審議することといたします。

日程第 2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○学校教育部次長
(教育総務課長)
(外岡 明文)

(平成 31 年 1 月 31 日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第 3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、2 番 吉田 礼子 委員にお願いします。

日程第 4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、平成 31 年 2 月 25 日月曜日午前 10 時 00 分開会といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

3学期も残すところ約1か月となってきました。寒さも緩んできて、心配していましたインフルエンザの流行も、2月に入って落ち着いてきました。高校入試も始まっていますが、中学3年生には十分な体調で臨んでほしいと思います。また、各学校園では今年の総仕上げとともに、新年度に向けた準備と忙しいところであると思いますが、しっかりとした取組をお願いするところです。それでは、前回1月31日以降の取組について報告いたします。

(1) 本庄小学校研究発表会(2/1)

今年度も市指定の研究発表会を14校園で開催いただきましたが、その最後の発表会が2月1日、本庄小学校で開催されました。各発表会でも申し上げていますが、三田市では本当に熱心に授業改善に向けた研究が行われており、教育研究グループの研究も含めて、これら取組が三田の教育を支えていると思っています。本年の研究発表の成果を踏まえて、次年度の研究へとつなげていただきたいと思います。

(2) 高校生議会(2/3)

2月3日日曜日に第4回目の高校生議会が市議会議場で開催されました。今回も市内6つの公立私立の高等学校から、18名の高校生議員が三田市のまちづくりについて質問を行いました。今年度は教育委員会関係にも2人の議員から質問がありました。1つは「アクティブラーニングなど、三田の教育の強み内外にアピールして、人口定着を図ってはどうか」という質問、もう一つは、「三田の農業の振興を図るため、学校給食を通して三田の農産物への興味関心を高める方策について」といった質問でした。いずれも、それらのことを意識して取組を進めているところですが、提案の趣旨を踏まえて、より一層充実していきたいと、答弁いたしました。その他にも、子育てや、健康・福祉、防災や防犯、通学路対策や公共交通、環境保全、観光振興など、今年度は様々な分野に係る質問があり、また、再質問も活発にされてきました。三田での義務教育を終えた高校生が、三田市のまちづくりにこんなにも関心を持ってくれていること、うれしくも、また頼もしくも思ったところです。

(3) 平成30年度第2回阪神7市1町教育長協議会(2/5)

2月5日、伊丹市で今年度2回目の阪神7市1町教育長協議会が開催されました。

議題は、「特別支援学級への教員配置要件」と「来年の熱中症対策」の2点でした。

1点目について、兵庫県では原則、臨時的任用教員を特別支援学級の担任に配置することができないが、能力のある臨時職員もいるわけで、各学校長の判断により配置できるよう要件緩和ができないかといったことで、これについてはこれまでも課題であるといったことで検討もしていましたが、改めて県要望についても考えようということになりました。

2点目は今年の夏の熱中症対策です。国等の通知に基づき一定の基準をもって、各学校の判断で対策を行うといったことが各市共通したところですが、ハード的にはミストの設置や、体育館の空調設備問題など、議論がありました。三田市としては、小学校及び幼稚園の普通教室・保育室の空調整備を今年夏までに供用することが最大の目標であり、昨年夏の取組も踏まえながら、子どもたちの安全に万全を期していかなければならないと思っています。

(4) 三田市学校再編計画(第1次計画)説明会

(2/10・11・16・17)

2月10日から17日の休日、4会場において昨年12月の総合教育会議で決定いただいた、中学校の再編計画について、対象校である長坂・藍、上野台・八景中学校について各市民センター等で実施いたしました。三田市としては、昭和50年の上野台中学校の再編以来約40年ぶりのことであり、学校だけの問題でない、地域のまちづくり、三田市のまちづくりにも関わる大きな問題であります。今回は、まずは保護者・市民の皆さんとこれから協議を重ねるたたき台としての計画を説明させていただく場として設定させていただきました。会場においては、計画に納得できないといった意見や、別案はないのか、今後のスケジュールなど、たくさんのご意見をいただきました。また、各会場本当に多くの地域の皆さんに参加いただき、保護者の皆さんのみならず、地域の皆さんにも、学校のこと、まちづくりのことに大きな関心を持っていただいていることに感謝しているところです。

今後については、いただいた意見を真摯に受け止めるとともに、まだまだご意見をお聞きしていない皆さんもあることから、再度、地域代表の皆さんや、保護者の皆さんに、丁寧な説明と、ご意見をいただき、皆さんのご意向も参考として調整させていただ

いた上で、再編の協議に入っていきたいと思っております。
教育委員会としては、より良い学びの環境を子どもたちに提供できるよう、保護者や地域・市民の皆さんと協議しながら進めてまいりたいと思っております。

(5) 第9回日本語スピーチ大会(2/11)

2月11日、まちづくり協働センターで第9回目の日本語スピーチ大会が開催されました。この大会は、国際交流協会主催で、多文化共生の実現に向けた、相互理解・相互交流の場として開催される「国際交流DAY2019」の中で実施されました。三田市在住の外国籍の皆さんが、日本での生活などを日本語でスピーチされるもので、私はその審査員として参加いたしました。今回は、10人の外国籍の皆さんのスピーチでありましたが、ユーモアを交えた楽しいスピーチを披露されていました。グランプリは、日本語を学んで6か月、インド出身の女性で、日本での妊娠と育児についてのスピーチでした。スピーチは流ちょうな日本語で本当に素晴らしいものでしたが、受賞のあいさつは英語でした。6か月の学習期間の中でスピーチは日本語をすべて暗記されていたようで、これには驚きと大変感心させられました。参加された皆さんも、これを機会に、三田での日本での暮らしをより一層楽しんでいただきたいと思います。

(6) 新年度予算の発表(2/14)

2月14日の三田市の新年度予算案が発表されました。事前にも「平成31年度 三田市のわかりやすい予算」という冊子を送付させていただいたところですが、「共に創る未来へのまちづくり予算」として、「地域の創生」「まちの再生」「人と人との共生」といった3つの重点施策の下で編成されました。一般会計総額は378億3400万円で昨年度より2.5%増となっています。国民健康保険事業会計などの特別会計6会計・水道や病院といった3つの企業会計を含めた三田市の全会計の総額は昨年より0.8%増の781億6986万円となっています。三田市の財政状況は、何度もお話してありますとおり厳しい状況に変わりはありません。市税収入の増が期待できない中、国からの交付金等も減少する中で、収入に見合った支出ということで予算が調整されましたが、最終的には1.4億円の財政調整基金という貯金を取り崩して収支を合わせています。そのような中での教育関係の予算ですが、市長自身「教育・ひと

づくり」といったことに力を入れていただいております。中学校のパソコン教室のパソコンのタブレットへの更新や、昨年は小学校3年生以上の普通教室だったのですが、今年は中学校3年生までのすべての普通教室にネット環境を整えた大型テレビを配置する予算などICT環境の充実や、中学校の部活動指導員配置の新規予算、スクールソーシャルワーカーの全8中学校区への配置、学校図書館司書については20小学校に配置できるように、外国語指導助手のALTも更に1名増員の予算を計上するなど、人的な配置の拡充を図るとともに、けやき台中学校の大規模改修の初年度として3.8億円計上しており3か年で約8億円かけての改修を行っていきます。ただ、学校配当の予算は昨年並みということで、各学校園には、本年度と同様経費節減と効果的・効率的な執行に工夫していただきたいと思っています。

なお、詳細については、別途説明させていただきたいと思っております。

(7) 教育委員と生涯学習審議会委員との意見交換会(2/18)

2月18日に教育委員の皆さんにもご参加いただき、生涯学習審議会委員の皆さんとの意見交換をさせていただきました。

これは、平成20年度の組織改正によって、三田市では生涯学習・社会教育の施策が市長部局の所管となったことにより、これら分野の施策推進に対して相互に理解・協力して取り組んでいくため、行っているものです。今回は「学びを通じた地域づくりについて」として、こども室健やか育成課で取り組んでいる「学校支援ボランティア」「放課後子ども教室」「こうみん未来塾」の取組について、紹介していただき意見交換を行いました。

学校としても地域と連携した教育活動に、また、地域としては学校・子どもたちを核とした地域づくりに、自らの自己実現の場として、活動の広がりを実感いたしました。今後も地域に開かれた学校として、子どもたちの学びを支えていただけるよう、連携をさらに密にしていきたいと思っています。

(8) 第350回三田市議会定例会(2/20)

2月20日には、第350回の市議会定例会が3月25日までの日程で開会いたしました。

今定例会は、新年度予算を中心に審議されるものですが、一般質問では、学校の再編についての質問が予想されるようです。これからの取組について、市民の皆さんにもご理解いただけるよ

う、丁寧に答弁してまいりたいと思っております。

(9) 三田市防災会議、国民保護協議会 (2/22)

2月22日三田市総合福祉保健センターで、三田市防災会議が開催されました。地域防災計画の改正などが行われたわけですが、学校関係としては市指定の避難所の追加変更となりました。学校関係ではこれまで避難所となっていなかった三輪小学校、藍小学校が土砂災害特別警戒区域の指定とならなかったこと、また小野地域では地域要望もあり小野幼稚園が市指定避難所となりました。一方で、風水害においても小中学校が避難所となっていました。各地区的な地理的な関係から小学校のみとなり中学校については風水害の避難所とはならない、そのような変更となりました。地震災害などは中学校も避難所となります。いずれにしても学校は地域の中心的な施設であることから、住民の皆さんの安全、命を守るうえでも役割を果たしていきたいと思っております。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

冒頭で決定しました通り、今回の議事につきましては議案第6号「職員の分限処分について」の人事案件は非公開での審議となりましたので、日程第8まで終了した後非公開で審議させていただきます。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。

報告第3号「平成31年度当初予算の概要について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部次長
(教育総務課長)
(外岡 明文)

報告第3号「平成31年度当初予算の概要について」事務局から説明

○教育長

何かご質問等ございますか。

(鹿嶽 昌功)

○教育委員
(田口 文夫)

特別教室の空調設備は予算に組み込まれていないようですが、今後は予算がつく予定はありますか。

○学校教育部次長
(教育総務課長)
(外岡 明文)

まずは普通教室から進める予定です。特別教室の整備については、現時点では未定です。

○教育委員
(田口 文夫)

特別教室の空調設備については、避難所での必要性だけでなく学校のカリキュラム編成の際にも、特別教室に空調が設置されるとカリキュラムが組みやすくなります。避難所として一部の教室が使用できなくなっても、すべての教室に空調が設置されていれば、すぐに子どもたちを日常学校生活に戻せ、早期の心のケアになります。今後早急に検討していただきたいと思えます。

あと、IT機器の推進事業についてですが、子どもたちには小、中学校の教育課程の中で、しっかりタブレット等を活用する力を身につけてほしいと思えます。個々に使用できるICT機器に自分の学習歴をプロフィールデータとして残すことで、貴重な個人情報として一人一人が管理し、入試をはじめ将来的に活用できる重要な資料に活用できることとなります、是非とも子どもたち一人一人へのタブレットの導入を検討いただきたい。

○学校教育部次長
(教育総務課長)
(外岡 明文)

空調につきましては、今後の財政状況を見ながら検討していきたいと思えます。

タブレットは、この度、中学校のパソコンルームに整備することとしており各校40台を導入予定としております。授業の際は1人1台の使用が可能です。今後は国の方針も出ておりますので、できるだけ多く導入できるように検討してまいります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員

タブレットの件ですが、特別支援学級でのタブレットの使用状況は

(三木 尚美)

どれぐらいですか。

特別支援学級の生徒は、上手にタブレットを活用すれば授業にも大変役立つと思いますので、可能であれば1人1台使用できればと思っています。

○学校教育課長
(古井 善喜)

これまで中学校にはタブレットがありませんでした。現在、小学校には児童数に応じて25～40台くらい入っており活用いただいております。特別支援学校にも導入しております。この度、中学校にも導入されたことにより、全校に1クラス分くらいタブレットがあり、使用できる環境も整いました。

国の方針では3クラスに1クラス程度の導入とのことですので、今後は状況を見ながら国の方針に近づけるように財政への要望もあげていきたいと思っています。

○学校教育課参事
(吉田 裕彦)

特別支援学級でのタブレットは三田市全体で数台ですが、それにつきましては使いやすいアプリを入れて使用しております。特に通級指導で活用されています。

○教育委員
(三木 尚美)

わかりました。ありがとうございます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。

ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第4号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部次長
(教育総務課長)
(外岡 明文)

報告第4号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、3月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○学校教育部次長
(教育総務課長)
(外岡 明文)

3月教育委員会定例会の開催日時は平成31年3月28日(木)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校園長からの報告です。
中学校代表より報告をお願いいたします。

○中学校校長会代表
(竹村 年正)

○学年末考査

中学校の主な学校行事も終了し、先週から今週にかけて各中学校では学年末考査を実施しております。今年度の最後の定期考査であり、学習の成果をしっかりと見極めていきたいと考えております。1月下旬から2月上旬に実施された、新入生説明会も無事終了し、各中学校では小学6年生の体験授業や授業参観、部活動参観を実施するなど、中学入学の不安を少しでも解消するための取組を行いました。今後、小学校とも連携しながら新入生の受け入れに向けて準備を進めていきます。

○卒業式、進路に向けて

また、来週から卒業式の練習が始まります。義務教育9年間の最後の締めくくりにふさわしい厳粛で心のこもった卒業証書授与式になるよう生徒とともに準備を進めていきます。教育委員会の皆様のご列席をよろしくお願いいたします。

進路関係では、私学入試、国公立の推薦入試・特色選抜の入試と合格発表が終わり、2月22日より公立高等学校の出願が始まっております。公立の推薦入試・特色選抜の入試に関しては、心配されたインフルエンザの影響もほとんどなく、無事終了することができたようです。現在進路担当者会を中心に結果の集約を行い、分析を行っています。今後、2月26日に出願が締め切られ、2月28日から3月4日の志願変更を経て出願が確定し、3月12日の学力検査、19日の合格発表となります。生徒一人一人の不安な気持ちに寄り添いながら、最後まで丁寧な進路指導に努め、全員の進路決定に向けて取組を進めていきます。

○小学校校長会代表
(藤原 賢治)

○3学期行事について

小学校長会です。3月の足音が聞こえるころとなりました。

先週2月17日(日)には、文化スポーツ課主催で社会体育の一環として、駒ヶ谷運動公園体育館において「小学生ドッジボール大会」が開催されました。6年生を中心に市内各小学校900名を超える児童が集まり、一日、熱戦を繰り広げました。

また、各校では、この1年間最高学年として多くの行事や集団登校等でリーダーシップをとった6年生に対し感謝の気持ちと卒業を祝う「6年生を送る会」が開催されています。このことにより、学校自治が在校生に引き継がれ、児童会活動が5年生にバトンタッチされます。本校でも来週月曜日、3月1日に「6年生を送る会」を予定しています。5年生が実行委員会の中心となり、1年生から4年生も感謝の気持ちを表す発表を工夫して計画しているようです。

また、平素お世話になっている学校支援ボランティア、地域の方や敬老会のみなさんを招待し、この1年間のお世話になった事に対して子どもたちから感謝の気持ちを述べたり、プレゼントを贈ったりする場として「感謝のつどい」を行います。これも本校では3月4日(月)に「愛ありがとう集会」という行事を行います。

2月19日(火)には、三田市健康福祉保健センターにて「教育研究グループ研究交流会」が開催され、各研究グループが今年1年の実践報告を行いました。関西学院大学 佐藤 真教授の、講評及び講演では「これらの実践研究活動が、市内のすべての先生方に広がることを期待している。」ということを受け、今後も研究の裾野が広がることを目指したいと思っています。

○来年度に向けて

最後に、各校とも、この1年の学校経営や教育課程、生徒指導等の取組状況を振り返る、学校評価を行っています。教職員による内部評価や学校関係者評価等の外部評価をもとに本年度の成果と課題を明らかにし、来年度に向けての目標指針を設定しています。

今後ともよろしくお願い致します。

○幼稚園園長会代表
(常倍 英美)

○生活発表会

各園で生活発表会が無事に終了しました。子どもたちが、1冊の絵本、お話からイメージを広げ、考え合い、思考を深め、伝えあい、体や絵画製作、言葉や歌など様々な表現方法で思いを表し、イメージを共有して友達と協同し、創りあげた劇を、たくさんの

お客さんの前で発表しました。1年ないし2年の園生活で育まれた力を存分に発揮し、いきいきと取り組む子どもたちに、たくさんの拍手をいただきました。子どもたちの表情は、やりきった満足感や達成感で輝いていました。子どもたちの成長を保護者や地域みなさんと喜び合えたことが何よりありがたかったです。

○小学校への接続

入学説明会が終わり、今度は、各小学校から次年度入学する子どもたち一人一人についての引継ぎのご依頼をいただき、ご対応させていただいています。本園も7つの小学校に入学していきます。各小学校、それぞれに園までお越しいただき、顔の見える丁寧な引継ぎが行われています。各担任たちが一人一人の子どもたちのことを一生懸命お話し、小学校の先生方に丁寧に受け止めていただき、入学する子どもたちがスムーズに学校生活に溶け込んでいけるように準備をすすめています。

○卒園式

3月18日の卒園式まであとわずかになりました。アプローチカリキュラムと照らし合わせ、子どもたちの育ちを確認しながら、さらに子どもたちが自信をもって小学校生活のスタートがきれるように取組をすすめています。各園では、保護者の方々とともに、お別れ会やお別れ遠足など、ともに過ごした仲間と想いをひとつに楽しむ活動も計画しています。みんなが満足できる卒園の日を迎えられるように、取組をすすめています

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

それでは、引き続き、追加議案第6号を審議いたしますが、審議は非公開にて行いますので、事務局関係者以外はご退席をお願いいたします。

(事務局関係者以外退室)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

(1) 人事の一般方針を定め、並びに分限及び懲戒を行うこと

【三田市教育委員会事務委任規則第1条7号関係】

議案第6号「職員の分限処分について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部次長
(教育総務課長)
(外岡 明文)

議案第6号「職員の分限処分について」事務局から説明

《非公開審議》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問ございますか。
なければこのように承認させていただきます。
それでは以上で定例会を終了いたします。